

次世代型太陽電池（ペロブスカイト太陽電池）を用いた 建材一体型太陽光発電の実証実験について札幌市と連携協定を締結

YKK AP 株式会社（本社：東京都千代田区、社長：魚津 彰）は、次世代型太陽電池であるペロブスカイト太陽電池を用いた建材一体型太陽光発電（BIPV：Building Integrated Photovoltaics）の実証実験を実施するため、2050年までに市内の温室効果ガス排出量を実質ゼロ（カーボンニュートラル）にする目標を掲げており、環境省の「脱炭素先行地域」にも選定されている札幌市（市長：秋元 克広）と、1月20日に連携協定を締結しました。

この協定に基づき、2月4日から「さっぽろ雪まつり」会場にて、建材一体型太陽光発電（BIPV）による実証実験ハウス（以下、「ムービングハウス」）の設置・展示を決定いたしましたので、お知らせします。



左から YKK AP：代表取締役社長 魚津 彰、札幌市：秋元 克広市長

本協定は、カーボンニュートラルの実現と持続可能な社会の構築の推進を図るため、次世代型太陽電池（ペロブスカイト太陽電池）等による建材一体型太陽光発電（BIPV）を搭載したムービングハウスにて実証実験（以下、「本実証実験」）を行うこと、及び市有施設への導入検討について相互に連携・協力して取り組むことを目的に締結しました。

YKK AP は、株式会社関電工（本社：東京都港区、社長：仲摩 俊男）との業務提携により、窓や壁面を活用する建材一体型太陽光発電（BIPV）の開発を進めています。昨年、秋葉原で行った実証実験ハウス「Akiba ZERO BOX（アキバ・ゼロ・ボックス）」での実証実験に続き、ムービングハウス「SAPPORO ZERO BOX（サッポロ・ゼロ・ボックス）」により、雪国における建材一体型太陽光発電（BIPV）の効果を把握することで、様々な地域での有効性を確認し、社会実装を目指します。また、今回、多くの来場者が見込まれる「さっぽろ雪まつり」会場に展示することにより、YKK AP、札幌市の取り組みと、建材一体型太陽光発電（BIPV）の認知拡大を行ってまいります。

当社はこれらの取り組みにより、これまで進めてきた「窓で断熱」（省エネ）に「窓で発電」（創エネ）を加え、カーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

【連携協定の内容】

「次世代型太陽電池（ペロブスカイト太陽電池）を用いた建材一体型太陽光発電の実証実験に関する連携協定」

■ 協定締結日

2025年1月20日（月）

■ 連携項目

- ・本実証実験のデータ収集、分析及び評価を通じた次世代型太陽電池（ペロブスカイト太陽電池）等を用いた建材一体型太陽光発電の発電性能及び信頼性並びに今後の普及拡大に向けた課題の検証に関すること。
- ・本実証実験の内容が実用化した後の市有施設への導入検討に関すること。
- ・カーボンニュートラルに関する取り組みの情報発信に関すること。

■ 役割分担

・札幌市

本実証実験の実施場所の確保、本実証実験の総合調整及び情報発信 など

・YKK AP

発電する内窓、及び太陽光発電を設置したムービングハウスの設計・製作、

太陽光発電に係るデータ収集及び分析、本実証実験におけるムービングハウスの維持管理 など

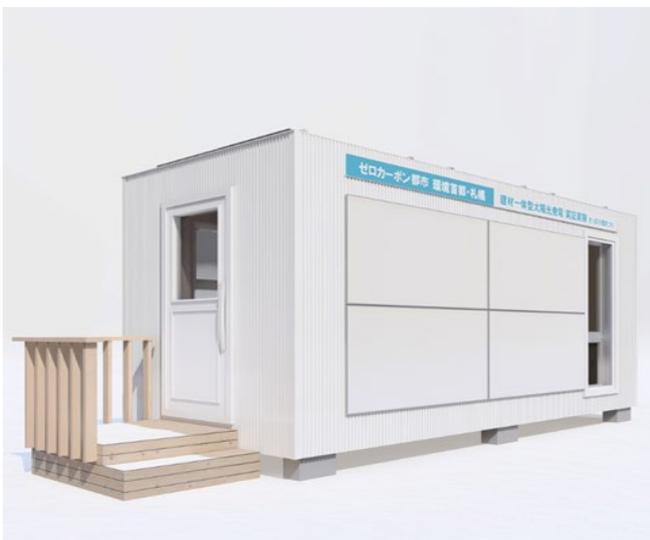
【さっぽろ雪まつり 実証実験 概要】

ムービングハウス「SAPPORO ZERO BOX」にて、次世代型太陽電池であるペロブスカイト太陽電池を用いた内窓タイプの建材一体型太陽光発電等により実証実験を行います。ハウス内では、札幌市の取り組みに関する情報発信の展示も行います。

期間：2025年2月4日（火）～11日（火・祝）（さっぽろ雪まつり開催期間）

時間：11時～20時（一般開放）

場所：第75回さっぽろ雪まつり 大通会場3丁目（札幌市中央区大通西3丁目）



ムービングハウス「SAPPORO ZERO BOX」（画像はイメージです）

